

第16章 災害・消防・警察・海上保安

1	災 害	359
16-1	平成27年中の台風・大雨等による被害状況	360
16-2	市町村別台風・大雨等による被害状況	360
16-3	年次別台風・大雨等被害状況	361
2	消 防	362
(1)	火災発生状況	
(2)	消 防 現 勢	
16-4	市町村別の火災発生状況	363
16-5	月別火災発生状況	363
16-6	原因別火災発生状況	364
16-7	大火災発生状況（損害額2,000万円以上）	364
16-8	消 防 現 勢	364
3	警 察	365
(1)	交通事故発生状況	
(2)	刑法犯発生状況	
16-9	市町村別交通事故発生状況	366
16-10	刑法犯市町村別発生状況	367
4	海 上 保 安	368
16-11	海難事故の発生状況	368
16-12	海上における人身事故	369
16-13	機動力（巡視船艇）	369
16-14	民間救助組織	369
16-15	船舶交通安全協議会	370
16-16	奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況	370
16-17	奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会	370

1 災 害

平成27年は、5月に台風6号、7月に台風9号・12号、8月に台風15号が奄美地方に接近、また、4月から9月にかけて計6回の豪雨により住家等に大きな被害が発生した。

人的被害については、台風6号により奄美市において7名の負傷者が発生した。

被害額については、約32億6千万円となり、前年と比べて22億3千万円の増加となった。項目別では、農林水産被害が約23億6千万円（被害総額の87.6%）で最も多く、次いで公共土木施設の約3千万円（同9.1%）などとなっている。

16-1 平成27年中の台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

期 間	台 風 大 雨 等	人的被害 (人)		住 家 被 害 (棟)					非住家 被 害 (棟)
		死 亡 不 明	負 傷	全 壊	半 壊	一 部 破 損	床 上 浸 水	床 下 浸 水	
27. 4. 20	大 雨	0	0	0	0	0	0	3	0
27. 5. 12	台風6号	0	7	3	0	26	0	0	11
27. 6. 7~ 6. 8	大 雨	0	0	0	0	1	0	2	0
27. 6. 19	大 雨	0	0	0	0	0	0	2	0
27. 6. 23~ 6. 24	大 雨	0	0	0	0	0	0	2	0
27. 7. 10	台風9号	0	0	0	0	0	0	4	0
27. 7. 25~ 7. 26	台風12号	0	0	0	0	0	0	2	0
27. 8. 24	台風15号	0	0	0	2	7	9	94	30
27. 9. 30	大 雨	0	0	0	0	9	0	0	4
合 計		0	7	3	2	43	9	109	46

※期間は、災害警戒本部設置から廃止までの期間である。

16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課
期間：平成27年1月～12月
単位：千円

区 分 市町村名	人的被害 (人)	農林水産業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 林 水 産 被 害	そ の 他	合 計
奄 美 市	7	0	0	0	0	0	0
大 和 村	0	0	0	0	870	0	870
宇 検 村	0	0	0	0	0	0	0
瀬 戸 内 町	0	0	0	0	0	0	0
龍 郷 町	0	0	0	0	1,153	0	1,153
喜 界 町	0	5,618	0	0	91,932	0	97,550
徳 之 島 町	0	333	0	0	274	0	607
天 城 町	0	0	29,714	4,400	112,136	0	146,250
伊 仙 町	0	0	0	0	64,723	0	64,723
和 泊 町	0	0	0	0	0	0	0
知 名 町	0	0	0	208	5,898	0	6,106
与 論 町	0	157	0	0	8,689	0	8,846
合 計	7	6,108	29,714	4,608	285,675	0	326,105

資料：大島支庁総務企画課
 期間：平成27年1月～12月

被 害 金 額 (単位：千円)										備 考 被害地域等
農 林 水 産 業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 産 被 害	林 産 被 害	畜 産 被 害	水 産 被 害	商 工 被 害	そ の 他	計	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	奄美群島全域
591	0	0	52,008	0	0	0	0	0	52,599	奄美群島全域
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	奄美群島全域
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	奄美群島全域
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	奄美群島全域
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	奄美群島全域
0	9,070	0	13,366	0	0	0	0	0	22,436	奄美群島全域
5,440	20,644	4,400	152,195	0	924	0	0	0	183,603	奄美群島全域
77	0	208	67,182	0	0	0	0	0	67,467	奄美群島全域
6,108	29,714	4,608	284,751	0	924	0	0	0	326,105	

16-3 年次別台風・大雨等被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課
 期間：各年1月～12月
 単位：千円

年次	区 分 住 家 等	農 林 水 産 業	公 共 土 木	そ の 他 の	農 林 水 産	そ の 他	合 計
		施 設	施 設	公 共 施 設	被 害		
平成 16	—	395,149	2,070,314	327,493	1,669,073	312,971	4,775,000
17	—	226,395	915,665	109,980	127,524	39,612	1,419,176
18	—	17,000	109,597	700	19,380	7,500	154,177
19	—	20,130	333,400	87,607	216,495	47,230	704,862
20	—	34,742	100,547	2,000	682	176	138,147
21	—	26,162	899	6,290	68,897	570	102,818
22	—	3,114,301	2,995,324	388,800	222,117	1,273,876	7,994,418
23	—	1,062,056	1,547,635	500,010	2,052,668	766,042	5,928,411
24	—	1,453,380	2,722,122	604,918	2,339,458	614,400	7,734,276
25	—	261,886	32,450	74,813	363,302	155,350	887,801
26	—	15,141	166,968	24,805	785,791	39,995	1,032,700
27	—	6,108	29,714	4,608	285,675	0	326,105

(注)「住家等」については、平成16年度以降、集計されていない。

2 消 防

(1) 火災発生状況

平成26年中の火災発生件数は75件で、前年に比べ3件増加しており、4.9日に1件の割合で火災が発生したことになる。

市町村別では、奄美市が19件（奄美群島全火災の25.3%）で最も多く、次いで、天城町11件、知名町9件、徳之島町・伊仙町各7件、龍郷町・喜界町各6件、与論町4件、和泊町3件、大和村・宇検村・瀬戸内町各1件の順となっている。

人口（平成26年3月31日住民基本台帳による）1万人当たりの出火件数を表す出火率では、天城町の17.1が最も高く、次いで知名町の14.1、龍郷町及び伊仙町の9.9の順となっている。

火災種別にみると、「建物」火災が32件（奄美群島全火災の42.7%）で、前年に比べ2件の減少、「林野」火災が2件（同2.7%）で、前年に比べ3件の減少、「車両」火災が8件（同10.7%）で、前年に比べ7件の増加、「船舶」「航空機」火災が各0件、「その他」火災（田畑の野焼き等の火災）が33件（同44.0%）となっている。

火災による死者は10人で、前年に比べ6人の増加である。また、負傷者9人で前年に比べ3人の増加となっている。

焼損棟数は71棟で前年に比べ2棟の増加、り災世帯数は44世帯で前年に比べ1世帯の減少、り災人員は67人で前年に比べ11人の減少となっている。

損害額は175,481千円で、前年に比べ26,899千円の増加で、火災1件当たり約2,340千円、1日当たり約481千円が灰になったことになる。

損害額2千万円以上の大きな火災は、龍郷町、徳之島町、和泊町で1件ずつ発生している。

出火原因では、「火入れ」が20件（全火災の26.7%）で最も多く、次いで「こんろ」8件（同10.7%）、「たばこ」5件（同6.7%）の順となっている。

(2) 消 防 現 勢

消防本部数は前年と変わらず3本部となっている。消防職員数についても前年と変わらず239人、条例定員に対する充足率は、97.6%である。

また、消防吏員239人の平均年齢は41.1歳となっている。

消防団数は12団、消防分団数は91分団で、ともに前年と同数である。消防団員は、1,532人で前年に比べ13人減少し、平均年齢は41.0歳で条例定員に対する充足率は92.9%となっている。

各消防本部が管理する消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ等の消防機械のうち、消防ポンプ自動車の充足率は100%（平成27年4月1日時点（3年に1回調査））となっており、救急自動車の所有台数は1台増加し22台となっている。

また、火災鎮圧のため必要不可欠な消防水利については、平成27年4月1日時点で充足率75.9%となっている。

消防ポンプ自動車及び消防水利充足率の県平均は、消防ポンプ自動車が88.0%、消防水利が65.5%であり、消防ポンプ自動車充足率、消防水利充足率ともに県平均以上（平成27年4月1日時点）となっている。

16-4 市町村別の火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
期間：平成26年1月～12月

市町村名	出火件数							損害額(千円)							
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
奄美市	19	10	2				7	31,819	31,465		35			319	
大和村	1	1						253	253						
宇検村	1	1						13,267	13,267						
瀬戸内町	1	1						3	3						
龍郷町	6	4		1			1	21,013	20,843		170				
喜界町	6	1		3			2	1,121	160		958			3	
計	34	18	2	4	0	0	10	67,476	65,991	0	1,163	0	0	322	0
徳之島町	7	5					2	22,641	22,523					118	
天城町	11			1			10	704			127			577	
伊仙町	7	3					4	22,619	22,305					314	
計	25	8	0	1	0	0	16	45,964	44,828	0	127	0	0	1,009	0
和泊町	3	2					1	44,678	678					44,000	
知名町	9	3		1			5	17,234	16,981		35			218	
与論町	4	1		2			1	129	71		58				
計	16	6	0	3	0	0	7	62,041	17,730	0	93	0	0	44,218	0
合計	75	32	2	8	0	0	33	175,481	128,549	0	1,383	0	0	45,549	0
平成25年	72	34	5	1	1	0	31	148,582	141,521	0	270	6,000	0	791	0
比較	3	△2	△3	7	△1	0	2	26,899	△12,972	0	1,113	△6,000	0	44,758	0

市町村名	焼損棟数					り災世帯数				死傷者			損害面積		1件当たりの損害額(千円)
	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	り災人員	死者	負傷者	建物床面(m ²)	林野(a)	
奄美市	24	6	2	13	3	13	5		8	22	1	8	500	60	1,675
大和村	3	3				1	1			1			149		253
宇検村	8	5		3		4	1	3	6	1			534		13,267
瀬戸内町	1				1	1		1	1						3
龍郷町	7	1			6	5	2	3	9				346		3,502
喜界町	2				2										187
計	45	15	2	16	12	24	9	0	15	39	2	8	1,529	60	1,985
徳之島町	14	7	1	1	5	11	5	1	5	13	1		490		3,234
天城町											1				64
伊仙町	4	4				4	4			6	3	1	355		3,231
計	18	11	1	1	5	15	9	1	5	19	5	1	845	0	1,839
和泊町	3	1			2	2	1		1	5			61		14,893
知名町	4	1	1		2	3	2		1	4	3		179	43	1,915
与論町	1			1									33		32
計	8	2	1	1	4	5	3		2	9	3	0	273	43	3,878
合計	71	28	4	18	21	44	21	1	22	67	10	9	2,647	103	2,340
平成25年	69	33	3	17	16	45	16	5	24	78	4	6	2,559	324	2,064
比較	2	△5	1	1	5	△1	5	△4	△2	△11	6	3	88	△221	276

※火災種別が2以上複合する火災は、焼き損害額の大なるものの種別に計上。

16-5 月別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
期間：平成26年1月～12月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	13	4	6	4	3	1	7	5	8	6	7	11	75
前年件数	13	10	1	3	6	4	6	7	6	5	6	5	72
増減数	0	△6	5	1	△3	△3	1	△2	2	1	1	6	3

16-6 原因別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課
期間：平成26年1月～12月

順位	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(5)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)					—	—	—
	火入れ	こんろ	たばこ	排気管	放火	電気装置	たき火	電灯・電話等の配線	火遊び	ストーブ	電気機器	放火の疑い	風呂かまど	交通機関内配線	取灰	かまど	焼却炉	その他	不明・調査中	計
件数	20	8	5	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	13	14	75
前年件数	19	4	5	0	8	0	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	8	9	72
前年順位	(1)	(4)	(3)		(2)		(4)	(4)	(7)	(7)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	—	—	—
増減数	1	4	0	4	△6	2	△3	△3	△1	△1	0	0	0	△1	△1	△1	△1	5	5	3

16-7 大火災発生状況（損害額2,000万円以上）

資料：鹿児島県消防保安課
期間：平成26年1月～12月

出火月日	出火時刻	市町村名	火元の用途	原因	焼損棟数	り災世帯	り災人員	死者	負傷者	焼損床面積(m ²)	損害額(千円)
4月17日	19:20	龍郷町	住宅	風呂かまど	1	2	4	0	0	346	20,521
9月3日	12:15	和泊町	田畑	不明	0	0	0	0	0	0	44,000
12月15日	00:30	徳之島町	住宅	不明	7	6	4	0	0	363	20,224

16-8 消防現勢

資料：鹿児島県消防保安課
期日：平成27年4月1日

区分 市町村名	消防団(消防本部)		消防団(職員)			消防ポンプ等							消防水利				
	団・本部数	分団数	条 例 定 数	現 員	平 均 年 齢	自消 防 動 車 数	ボ 水 ポン プ 自 動 消 防 車 数	付 は 消 防 自 動 消 防 車 数	小 型 動 力 ポン プ 数	救 急 自 動 消 防 車 数	そ の 他 数	ポン プ 自 動 車 充 足 率	消 火 栓 数	防 火 水 そう 他 数	そ の 他 率	充 足 率	
奄美市	1	16	452	401	42.9	8	2	-	42	1	-	3	-	457	133	36	-
大和村	1	5	52	51	39.3	1	1	-	9	-	-	-	-	-	28	9	-
宇検村	1	7	82	77	42.4	1	1	-	7	-	-	1	-	6	31	2	-
瀬戸内町	1	4	130	115	47.1	1	1	-	15	29	-	-	-	65	65	4	-
龍郷町	1	4	153	141	42.5	1	3	-	2	8	-	-	-	47	68	5	-
喜界町	1	10	128	128	40.0	2	2	-	6	1	-	3	-	-	128	4	-
大島地区消防組合	1	-	158	156	40.4	2	5	2	-	-	13	16	100	-	-	-	81.8
徳之島町	1	11	161	151	41.0	2	5	-	10	2	-	-	-	29	92	11	-
天城町	1	3	80	76	43.8	1	1	-	1	2	-	2	-	57	58	16	-
伊仙町	1	8	74	69	41.9	1	1	-	-	2	-	1	-	31	52	1	-
徳之島地区消防組合	1	-	49	46	43.0	-	3	-	-	-	4	3	100	-	-	-	76.6
和泊町	1	7	120	116	39.0	1	6	-	3	1	-	-	-	117	82	95	-
知名町	1	13	145	142	36.5	2	7	-	5	-	-	1	-	126	128	4	-
与論町	1	3	72	65	40.5	2	4	-	2	-	-	1	-	64	75	29	-
沖永良部与論地区広域事務組合	1	-	38	37	39.9	-	2	-	-	-	5	5	100	-	-	-	69.3
(本部)	-	-	245	239	41.1	2	10	2	-	-	22	24	100	-	-	-	75.9
計	団12	91	1,649	1,532	41.0	23	34	-	102	46	-	12	-	999	940	116	-

注1 消防職員の平均年齢は消防吏員の平均である。
注2 ポンプ自動車充足率及び消防水利充足率は、平成27年4月1日時点（3年に1回調査）の数値である。

3 警 察

(1) 交通事故発生状況

平成27年の交通事故の人身事故発生件数は、221件で前年に比べ30件減少した。

交通事故による死者は6人で、前年に比べ4人減少、傷者については231人で31人減少した。

件数を市町村別にみると、奄美群島で件数の最も多いのは奄美市の86件（全体の38.9%）で、次いで徳之島町の26件（同11.8%）となっている。また、島別に件数の割合をみると、奄美大島が114件51.6%、喜界島が10件4.5%、徳之島が59件26.7%、沖永良部島が23件10.4%、与論島が15件6.8%となっている。

死者は、奄美市、天城町で各2人、徳之島町、知名町で各1人の合計6人で、前年に比べ天城町が2人増加している。人口1万人当たりの死傷者数は、伊仙町が32人となっており、最も少ないのは宇検村の5人となっている。

(2) 刑法犯発生状況

平成26年の刑法犯の総認知件数は、474件で前年に比べ47件の減少となっている。

市町村別にみると件数が最も多いのが、奄美市の205件（全体の43.2%）で前年と比べると27件の減少、次いで徳之島町の83件（17.5%）で26件の増加となっている。

罪種別にみると、窃盗犯が324件で全体の68.4%を占めている。

なお、検挙件数は174件となっている。

16-9 市町村別交通事故発生状況

期間：平成27年1月～12月
 単位：人，件，台数

区分 市町村名	人口	件数 (人身)	死者	傷者	前年比増減			自動車保有車両数			人口1万人 当たりの 死傷者数
					件数 (人身)	死者	傷者	貨物・乗合・乗 用・特種用途・ 二輪数	軽自動車数	合計	
総数	111,359	221	6	231	-30	-4	-31	26,876	56,487	83,363	21.3
奄美大島	61,770	114	2	122	-33	-2	-34	14,549	26,757	41,306	20.1
奄美市	43,552	86	2	90	-22	1	-27	9,932	18,403	28,335	21.1
大和村	1,579	1		1		-1	1	422	724	1,146	6.3
宇検村	1,744	1		1	1		1	538	875	1,413	5.7
瀬戸内町	9,010	13		16	-2	-1		2,184	3,695	5,879	17.8
龍郷町	5,885	13		14	-10	-1	-9	1,473	3,060	4,533	23.8
喜界島	7,293	10		11	-5	-1	-4	1,563	4,307	5,870	15.1
喜界町	7,293	10		11	-5	-1	-4	1,563	4,307	5,870	15.1
徳之島	24,003	59	3	61	1	1	-1	6,218	15,415	21,633	26.7
徳之島町	11,395	26	1	27	-1			2,754	6,493	9,247	24.6
天城町	6,131	13	2	13	-1	2	-3	1,805	4,294	6,099	24.5
伊仙町	6,477	20		21	3	-1	2	1,659	4,628	6,287	32.4
沖永良部島	13,088	23	1	22	-3	-2	-1	3,603	7,441	11,044	17.6
和泊町	6,799	11		11	3		3	1,993	3,840	5,833	16.2
知名町	6,289	12	1	11	-6	-2	-4	1,610	3,601	5,211	19.1
与論島	5,205	15		15	10		9	943	2,567	3,510	28.8
与論町	5,205	15		15	10		9	943	2,567	3,510	28.8

注1 人口は平成27年10月1日現在推計人口（県統計課資料）
 2 件数，死者，傷者は平成27年12月末現在（県警察本部交通企画課）
 3 車両台数は平成27年3月末現在（第4章70ページ自動車保有車両数より）ただし，不明分，軽二輪は除く。
 4 奄美大島には，加計呂麻島，請島，与路島を含む。

16-10 刑法犯市町村別発生状況

資料：鹿児島県警察本部刑事企画課
期間：平成26年1月～12月

市区町村	包括罪種		凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他の 刑法犯	総計	平成25年 の状況
奄美市	認知	2	23	146	3	3	28	205	232	
	検挙	2	20	48	2	4	12	88	100	
大和村	認知	0	0	0	0	0	0	0	3	
	検挙	0	0	0	0	0	0	0	1	
宇検村	認知	0	0	0	1	0	1	2	1	
	検挙	0	0	0	1	0	1	2	1	
瀬戸内町	認知	0	3	20	0	1	9	33	36	
	検挙	0	3	5	0	0	4	12	23	
龍郷町	認知	0	0	10	0	0	2	12	20	
	検挙	0	0	3	0	0	0	3	8	
喜界町	認知	1	4	9	0	0	9	23	21	
	検挙	1	6	2	0	0	3	12	6	
徳之島町	認知	0	9	59	4	0	11	83	57	
	検挙	0	8	13	1	0	1	23	15	
天城町	認知	0	2	24	0	1	11	38	39	
	検挙	0	3	1	0	1	2	7	8	
伊仙町	認知	1	3	22	1	0	5	32	28	
	検挙	0	1	1	0	0	1	3	13	
和泊町	認知	0	0	15	1	0	4	20	47	
	検挙	0	0	4	2	0	1	7	13	
知名町	認知	0	2	15	0	0	5	22	21	
	検挙	0	2	9	0	0	1	12	10	
与論町	認知	0	0	4	0	0	0	4	16	
	検挙	0	0	5	0	0	0	5	9	
総計	認知	4	46	324	10	5	85	474	521	
	検挙	3	43	91	6	5	26	174	207	

※検挙件数については、発生地計上方式をとっている。

包括罪種の内訳

- 凶悪犯……殺人，強盗，放火，強姦
- 粗暴犯……暴行，傷害，脅迫，恐喝など
- 窃盗犯……窃盗
- 知能犯……詐欺，横領，偽造など
- 風俗犯……賭博，わいせつ
- その他の刑法犯……上記以外の刑法犯

4 海上保安

奄美海上保安部管内において、平成26年に発生した船舶海難は、20隻であり前年に比べ2隻増加した。

種類別に見ると浸水、乗揚、推進器障害の順となっている。原因別では、係船不適切、操船不適切、電気系統故障などの人的ミスによるものが大半を占めている。

また、平成26年の人身事故者数は31名であり、前年に比べて1名増加した。事故種類別としては、昨年と変わらず、遊泳中や釣り中の事故割合が高く、遊泳や磯遊びを行う場所についての知識不足や技能不足が主な原因で、群島外からの観光客や帰省客による事故が多く発生した。

海難発生時の救助活動は時間との闘いでもある。よって広い奄美の海域では、漁協や海上工事業者などを主体とする民間救助団体の組織化及びその協力は不可欠である。これらの状況を踏まえて、「水難救済会と論救難所」が、平成7年に設置されたのを契機として、平成14年までに奄美群島内の全市町村に救難所が設置され、救助活動を実施している。

さらに、漁業組合やプレジャーボート関係者等を母体として組織された各地区小型船交通安全協議会の海上安全指導員は、海上における小型船による海難事故の未然防止を図るための活動を実施している。

名瀬港長（奄美海上保安部長）は、名瀬港内における船舶交通の安全及び港内の整とんを図るため、海上工事や行事許可、危険物荷役の許可、入出港届の受理などを行っている。また、奄美海上保安部は、毎年、奄美群島の各漁業協同組合の総会に出席し、海難防止講習会を行うほか、大島支庁が実施する漁船登録の検認に同行し、漁船に対して海難防止指導を実施している。

奄美海上保安部の管理する灯台は、管内で最古の曾津高埼灯台（明治29年11月初点）を初めとする沿岸灯台18基、その他の防波堤灯台・導灯・指向灯・照射灯20基の合計38基がある。そのうち約半数は太陽電池化及びLED化されている。

また、奄美海上保安部では「海の情報」を提供する業務を行っている。平成15年2月からMICS（沿岸域情報提供システム）により、奄美群島の沿岸を航行する船舶・漁船やマリナーを楽しむ人々へ向けて、海の安全に関する情報（灯台で観測された気象情報、ライブ映像、海上工事の計画情報等）をインターネット・ホームページ（携帯電話を含む。）で提供しているほか、自動メール配信サービスを行い、海難の未然防止を図っている。

16-11 海難事故の発生状況

資料：奄美海上保安部

(ア) 要救助船舶隻数等の推移

項目 \ 年	平成24年	平成25年	平成26年
海 難 隻 数 (隻)	11	18	20
死 亡 ・ 行 方 不 明 者 数 (人)	1	6	0

(イ) 船舶海難の種類別内訳

(隻)

種 類	種 類											合 計
	衝 突	乗 揚	転 覆	火 災	浸 水	機 関 故 障	推 進 器 障 害	運 航 阻 害	行 方 不 明	そ の 他		
平 成 2 4 年	2	4	1	0	0	2	0	1	0	1	11	
平 成 2 5 年	0	4	0	0	0	5	2	4	1	2	18	
平 成 2 6 年	2	5	1	0	6	1	3	2	0	0	20	

16-12 海上における人身事故

資料：奄美海上保安部

(ア) 人身事故者数の推移

(人)

項目	年	平成24年	平成25年	平成26年
事故者数		30	30	31
死亡・行方不明者数		15	13	17

(注) 死亡・行方不明者数は、事故者数の内数

(イ) 人身事故の種類別内訳

(人)

年	船舶乗船中の人身事故					海浜事故				合計
	海中転落	負傷	病気	中毒	その他	遊泳中	磯遊び中	磯釣中	その他	
平成24年	2	5	0	0	1	3	2	1	16	30
平成25年	0	3	2	0	0	9	0	1	15	30
平成26年	1	5	2	0	0	3	3	3	14	31

16-13 機動力（巡視船艇）

資料：奄美海上保安部

期日：平成26年12月31日

船名	所属	総トン数	航行区域	就役年月
あまぎ	奄美海上保安部	1320	近海	平成22年3月
かいもん	奄美海上保安部	220	近海	平成16年4月
いそなみ	古仁屋海上保安署	105	近海	平成26年1月
ぱるさあ	古仁屋海上保安署	4.7	沿海	平成8月3月

16-14 民間救助組織

資料：鹿児島県水難救済会

期日：平成26年3月31日

設立年月日	組織の名称	代表者	住所	救助勢力
平成7年1月31日	与論救難所	南政吾	鹿児島県大島郡与論町茶花32-1	人員 51名
平成9年1月30日	和泊救難所	伊地知実利	鹿児島県大島郡和泊町和泊10	人員 30名
平成9年1月30日	知名救難所	平安正盛	鹿児島県大島郡知名町知名307	人員 40名
平成10年7月7日	喜界救難所	川島健勇	鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地	人員 92名
平成11年8月12日	天城救難所	大久幸助	鹿児島県大島郡天城町平土野2691-1	人員 33名
平成12年11月1日	伊仙救難所	大久保明	鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842	人員 84名
平成13年5月28日	龍郷救難所	徳田康光	鹿児島県大島郡龍郷町浦110	人員 240名
平成13年12月1日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 住用支所	朝山毅	鹿児島県奄美市住用町大字西仲間111	人員 31名
平成13年12月27日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 笠利支所	朝山毅	鹿児島県奄美市笠利町大字中金久141	人員 57名
平成14年1月1日	宇検村救難所	元田信有	鹿児島県大島郡宇検村湯湾915	人員 137名
平成14年3月4日	大和救難所	伊集院幼	鹿児島県大島郡大和村大和浜100	人員 193名
平成14年4月1日 (平成19年3月19日)	奄美市救難所 名瀬支所	朝山毅	鹿児島県奄美市名瀬幸町25-8	人員 70名
平成14年4月1日	瀬戸内救難所	房克臣	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23	人員 194名
平成14年7月1日	徳之島町救難所	高岡秀規	鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203	人員 61名

(注) 奄美市救難所各支所の上段の年月日は改組前のもの

16-15 船舶交通安全協議会

資料：奄美海上保安部
期日：平成26年12月31日

組織の名称	会員数	設立年月日	主な活動海域
奄美地区小型船交通安全協議会	202名	昭和49年12月17日	奄美大島（奄美市名瀬）
喜界島地区小型船交通安全協議会	54名	平成5年9月27日	喜界島周辺海域

16-16 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況

資料：奄美海上保安部
期日：平成26年12月31日
単位：基

市町村別	区分	灯	台	導	灯	指	向	灯	照	射	灯	計
(奄美大島)			15		1					1		17
奄美市			7		1							8
大和村			1									1
宇検村												
瀬戸内町			6									6
龍郷町			1						1			2
(喜界島)			4		1							5
喜界町			4		1							5
(徳之島)			5		1				1			7
徳之島町			2		1				1			4
天城町			2									2
伊仙町			1									1
(沖永良部島)			2		2		1					5
和泊町			1		2							3
知名町			1				1					2
(与論島)			2		1		1					4
与論町			2		1		1					4
合計			28		6		2		2			38

(注) 奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。

16-17 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会

資料：奄美海上保安部
期日：平成26年12月31日

会長名	事業所名	加入団体数	設立年月
中田留弘	奄美ダイビングセンターとめ	43	平成元年4月